

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原 朗	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9955		事務事業名称	原因者漏水補修事業						短縮コード	経常	9955	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	03	受託工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
毎年、原因者による漏水が発生しているため。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
原因者漏水の発生は、突発性があり、件数を予測するのは難しいが、過去の発生件数等を参考にして予算計上している。 他企業者への啓発を重視する中で発生件数は減少傾向にある。					大項目（節）	04	水道							
					中 項 目	01	水道							
					小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上							
					細 項 目	01	安定供給の向上							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	給・配水管の水道施設。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 原因者による 9 箇所の漏水を修繕。							
	※平成21年度に計画していること： 原因者漏水箇所を 1 1 箇所を想定し修繕を予定。							
意図 （何を狙っているのか）	水道利用者に対する被害を最小限に食い止めると同時に水の有効（有収）率向上を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	配水管総延長	m	622. 2	624. 6	629. 8	639. 1	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	原因者漏水修繕件数	件	11	11	9	11	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	二次災害発生件数	件	0	0	0	0	
	指標 2	有効率	%	95. 8	96	95. 74	96	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9955	事務事業名称	原因者漏水補修事業			所属名	維持管理課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	570	2,100	1,555	2,100	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			原因者による漏水修繕費 570千円	原因者による漏水修繕費 2,100千円	原因者による漏水修繕費 1,555千円	原因者による漏水修繕費 2,100千円	
人件費(B)			千円	11,384.9	9,672	4,484	4,484	
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,954.9	11,772	6,039	6,584	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	原因者漏水を直ちに修繕することによって、水道利用者への被害を最小限に食い止め、同時に水の有効利用を図っている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	原因者があつての漏水のため、目的達成には結びつかないし、予測不可能のため評価できない。					
			☐ 達成していない						
			☒ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	修繕費等の全ては原因者の負担となる。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の緊急対応で被害を最小限に食い止めている。					
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	原因者漏水は、すべて原因者の負担となるため、有効性や効率性を求めることが出来ない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)		
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	9955	事務事業名称	原因者漏水補修事業			所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			原因者漏水を直ちに修繕することによって、水道利用者への被害を最小限に食い止め、同時に水の有効利用を図っている。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止（事業完了含む）							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			原因者漏水を直ちに修繕することによって、水道利用者への被害を最小限に食い止め、同時に水の有効利用を図っている。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
低 下	☐		☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
突発的な被害を最小限に食い止めるように図ってほしい。	

所属長コメント	原因者漏水は他企業者への啓発を徹底することでしか防げない。各種調整会議等、あらゆる機会を通じて事故防止を働きかけていく。事故を予測することは出来ないが、過去の事例等を踏まえて現状維持で進めたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止（事業完了含む）		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		